

直流電路地絡検出装置

直流制御回路の地絡を捜して警報!
工場・プラント・発電所・変電所の
設備機器制御用直流回路に対応。

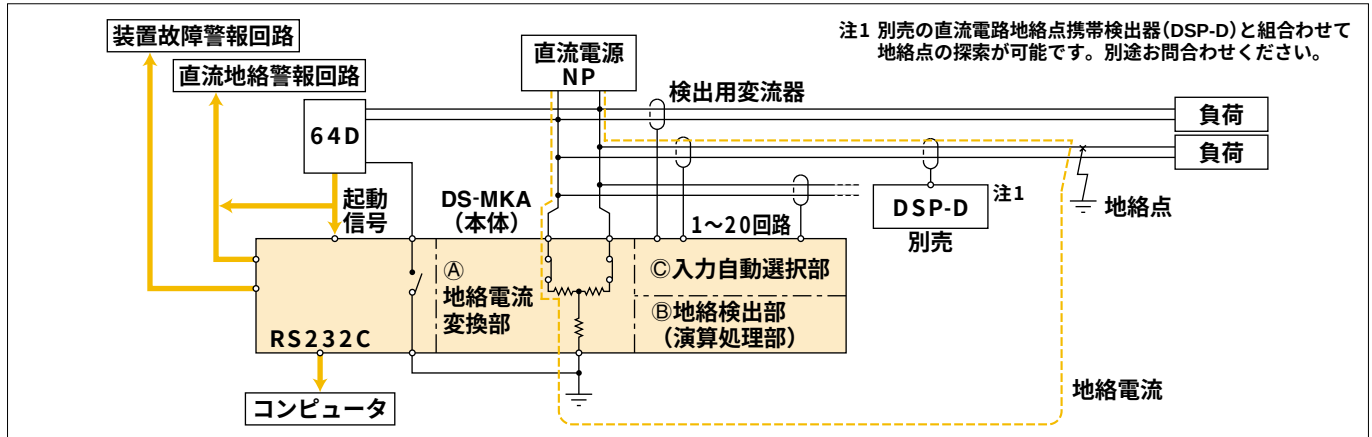


DS-MKA

DS-MKA (最大20回路用)

動作概要

図のように地絡が発生すると、DS-MKAが次の順序でどの分岐回路に地絡が生じているかを検出し表示します。



- ① DS-MKAは、直流地絡継電器(64D)の地絡故障信号を受けて動作を開始します。
- ② 始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。
地絡電流を正弦波的脈流を含む直流電流に変換します。
- ③ 地絡が発生している極表示が点灯し、回路全体の地絡抵抗値を表示します。
- ④ 検出用変流器からの信号を順番に切り替えて測定していきます。
- ⑤ 検出用変流器からの信号が判定レベルを超えると地絡回路と判断し、その回路番号が点灯します。
- ⑥ 地絡が消滅すると、自動的に待機状態に戻ります。
(表示は保持します。)
- ⑦ 64Dの接地線を元に戻します。

特長

- 多回路非接地式直流電路に地絡が生じた場合に、機器を運転状態のままで、自動的に地絡回路を検出し表示します。
- 別売の直流電路地絡点携帯検出器(DSP-D)と組合わせることで、地絡点を探索できます。
- 簡単なスイッチ操作(RPN測定)でP-G間、N-G間と総合地絡抵抗をそれぞれ99kΩまで測定でき、地絡抵抗の管理が可能です。
- 検出用変流器に「分割型」を使用すれば、無停電で変流器の取付工事ができます。
- 同一直流電源内で2台以上の直列運転が可能です。
- RS232C出力端子を利用すれば測定結果をコンピュータへ送れます。(オプション)
- 表示部は分電盤の見やすい位置に、本体は盤内の設置しやすい位置に、取り付け場所の選択が増えます。(オプション)
- プリンタを接続すれば地絡状態の記録も可能です。(オプション)

DS-MKA (本体)

型式	DS-MKA	
A 地絡電流変換部	発振周波数	5Hz(正弦波)
	適応直流電源 (検出回路電圧)	DC110V(90~140V) DC110V以外につきましては別途お問合わせください
	地絡電流	最大値4mA(DC110V)
B 地絡検出部	地絡検出能力	10kΩ未満 対地静電容量200μF以下で、 1負荷50μFまで
	入力数	20
C 入力自動選択部	検出時間	2入力/1秒(注)
	地絡抵抗表示	99kΩまで
消費電力(動作時)	20W	
外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	204×430×355mm(端子台、パネル等の突起物は除く)	
重量(kg)	16	

注: 対地静電容量が多い場合や回路にノイズが多い場合、
検出時間が長くなる可能性があります。

検出用変流器



S-15

N-18

貫通形	型式	S-15	S-30	S-40	S-55	S-68
	貫通穴径	15	30	40	55	68

分割形	型式	N-18	N-30	N-45	N-65
	貫通穴径	18	30	45	65